2021卒 就職活動スケジュールの展望

2021年卒業予定（2019年6月時点で学部3年生／修士1年生など）の理系学生の就職活動スケジュールはどのような日程になるのでしょうか。代表的な就活スケジュールは日本経済団体連合会（以下、経団連）から例年発表されているものの、それらの日程・スケジュールに当てはまらない採用活動を行う企業が増加傾向にあり、「いつ、何をすればいいのかわからない」という方も多いかもしれません。『2021卒　就職活動スケジュールの展望』では、スケジュールの見通しや、就職活動に臨むにあたって注意すべき点を解説します。

2021年卒の採用情報公開は2020年3月、面接は6月から

経団連の中西宏明会長は2018年9月の定例記者会見で、「現在の就職活動の指針を2021年春入社の学生から取りやめる」と発表しましたが、結果的に政府による関係省庁連絡会議の会合において、「現行の日程が定着しつつあり、維持が望ましい」との意見が大勢を占め、2021年卒の就活日程については現行の就活スケジュールが維持される見通しとなりました。

現行（2020卒）の就活スケジュールを改めて確認すると、まず学部3年／修士1年の夏から冬にわたってインターンシップが実施されています。就職活動が本格的にスタートするのは翌年3月1日からで、この日から企業の採用情報が一斉に公開され、就活生は企業へのエントリーや説明会参加といった活動を本格化させます。そして6月1日から企業の採用選考（面接や筆記試験など）がスタートし、選考通過者に対して随時内々定が出される、というのが現行の就活スケジュールの大まかな流れとなっています。

就活スケジュール、選考プロセスは企業ごとに多様化が進む

前述の就活スケジュールはあくまで目安であって、実際はこのスケジュールに沿った採用活動を行う企業ばかりではありません。学部3年／修士1年の秋以降から採用直結型のインターンシップを行う企業、早期から面接を実施して6月以前に内々定を出している企業など、企業の採用活動は一段と早期化しています。2019卒の採用活動では「約7割の企業が5月末までに何らかの形で内々定を出している」[※1]という調査結果もあります。2021卒の就活については「現行スケジュールの維持」となったものの、実際の採用活動はさらに早期化することが予想されます。ですから、3月1日の就活解禁日になってから動き出すのではなく、早期からしっかり情報収集に取り組むことが重要といえるでしょう。

がさらに早期化。高まるインターンシップの重要性。

理系就活生は将来について早めに考えよう

理系学生は卒業年次に学業が多忙になるケースが多いため、就活が本格化する前に学業や研究、就活準備などをできるだけ進めておくことが望ましいでしょう。早期に内定を獲得できれば問題ありませんが、学部4年／修士2年の夏以降も就職活動に取り組む必要が出てくると、学業への影響はさらに大きくなってしまいます。

近年の理系就活生の動きを見てみると、エントリー社数や説明会参加回数が減少傾向にあります。企業からも「学生の仕事や企業に対する理解が浅くなった」という声が出ており、十分な業界・企業研究ができていない理系学生が少なくないようです。内定率は上昇しているので「内定」は獲得しやすくなっているかもしれませんが、入社してから「就職した職場のイメージにギャップがあった」[※2]と感じている新社会人が増加しているという調査結果もあります。内定獲得は社会に出るというプロセス

※1「2019年卒・新卒採用に関する企業調査」株式会社ディスコ調べ　※2「新社会人の意識調査 2017」マクロミル調べ

の一段階目でしかないので、自身が長期的に活躍、成長できる環境を丁寧に見極める必要があります。

現時点で将来の進路に少しでも迷いがあるなら、「なぜ就職するのか」「自分の本当にやりたいことは何なのか」といったことを今のうちからしっかり考えるようにしましょう。就職活動を通じて、自分の本当にやりたいことが見出せる場合もあるので、様々な経験をして判断材料を集めてみてはいかがでしょう。志望業界・職種など、自身の目指すべき方向が見えてくるかもしれません。

就活におけるインターンシップの重要性はさらに高まる

将来について考える際、おすすめなのはインターンシップ（就業体験）です。インターンシップは仕事や会社についての理解を深められるので、自身の適性や本当にやりたいことを見極める絶好の機会といえるでしょう。さらに、インターンシップに参加した学生に対して優先的に採用選考情報などを提供している企業もあり、参加のメリットは少なくありません。

すでに2021卒向けのインターンシップ情報が公開され、エントリー受付も始まっているので、興味のあるプログラムをWEBサイト『理系ナビ2021』で探してみてください。1dayインターンシップなど短期プログラムを実施する企業も増加しており、インターンシップ参加のチャンスは広がっているので、この機会を活用して就職活動が本格的に始まるまでに自分の適性や社会に対する理解を深め、準備を進めてみてはいかがでしょう。

2021卒の就活は企業の動き

2020卒の就職活動の状況を踏まえ、2021卒の採用スケジュールやプロセスの見直しを検討する企業は少なくないでしょう。それゆえ、就活生は情報に対する感度を高めつつ、早期から行動計画をしっかり考えることが一層重要となります。就職活動が本格化するまでの時間を活用し、社会についての理解を深めたり、自身のスキルアップに努めたりと、時間を有意義に使ってください。「自分が将来どうなりたいのか」「そのためにいま何をするべきなのか」この夏、考えてみてください。

2021卒 就活スケジュールの見通し

昨年度の動きを参考にした2021年卒向け就職活動スケジュールの大まかな見通しです。企業の選考活動時期は多様化しているので、志望企業・業界の選考スケジュールは個別にチェックしましょう。

2019 6月

［6月以降］
情報収集をスタート

気になる仕事・会社や就活の進め方などを理系ナビで調べましょう！

7月

8月

［夏以降〜翌年の春］
インターンシップに参加

夏季にインターンシップを実施する企業が多いですが、秋から冬にかけても実施されています。仕事・会社理解が深まり、選考対策にもつながるのでぜひ活用してください。

9月

10月

11月

12月

2020 1月

2月

3月

［3/1］
採用情報公開
エントリー受付、合同イベント・説明会

4月

5月

6月

［6/1以降］
採用選考

早期に内々定を出す企業が増えており、2019卒では半数以上の企業が5月末時点で内々定出し

7月

8月

早期から採用活動を行う企業は秋以降から広報・選考を実施